

# 英語ⅡC

必修

開講年次：1年次後期

科目区分：演習

単位：1単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：「英語IC」で培ったスピーキング力、プレゼンテーション能力をさらに向上させ、一定レベルの内容を英語で発信する力を養う。同時に、ある程度複雑な内容のネイティブの会話や説明などを正確に理解できるように、CD等の教材を活用し、更なるリスニング力の向上を目指す。

■**到達目標**：①英語で自らの考えや意見を論理的に発信できる力を身につける。  
②論理的な内容の英語を聞いて理解できる力を身につける。

■**担当教員**：

山田 パトリシア・バマイ モクター

■**授業計画・内容**：

- 第1回 Orientation
- 第2回 Chapter 8 Plastic Surgery: Too Much of a Good Things?
- 第3回 Chapter 9 Modern Life vs. the 'Good Old Days': Can We Turn Back the Clock?
- 第4回 Chapter 10 Looks vs. Personality: What Do You Think?
- 第5回 Chapter 11 The Declining Birthrate in Japan: Where Are All the Babies?
- 第6回 Chapter 12 The Japanese Seniority System
- 第7回 Free Topic (Handouts)
- 第8回 Chapter 13 The 'Graying' of Japan: Are You Ready to Retire?
- 第9回 Chapter 14 Immigrants in Japan: How Many Are Needed?
- 第10回 Chapter 15 Welcome to the World of Work
- 第11回 Free Topic (Handouts)
- 第12回 Review the basics of presentation
- 第13回 Preparation for the group presentation
- 第14回 Preparation for the group presentation
- 第15回 Final Exam (Group presentation)

\*スケジュールは事情により変更の可能性もある。

■**教科書**：On Topic KINSEDO (金星堂)

■**参考文献**：

■**成績評価基準と方法**：

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②		
定期試験	◎	◎	トピックの理解力、発表能力、思考の流暢さ、文法、発音などを総合的に判断する	50
授業態度	◎	○	積極的な姿勢	30
発表	◎		自らの考えや意見を発表することを重視する	
課題・作品	○			10
出席			2/3以上の出席(出席が2/3に満たない場合、定期試験の受験資格を失い、単位を修得することができません)	10
その他			遅刻3回で欠席1回とみなす	

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：英語に関する全ての科目

■**その他 (学生へのメッセージ・履修上の留意点)**：この授業は英語のネイティブ・スピーカーの教員により、すべて英語で行なわれる。辞書を必ず持参すること。また授業中の積極的な発言が評価の対象になることに留意すること。